

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 桂川町

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,422	1,740	171	3,332

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	4,993	4,840	153	146	14	4,950	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	44	44	0	0	9	72	
土地取得特別会計	0	0	0	0			
一般会計等	5,037	4,884	154	146		5,022	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除（純計）したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	221	189	32	235		529		法適用企業
国民健康保険特別会計	1,653	1,556	97	97	113			
後期高齢者医療特別会計	155	153	2	2	52			
老人保健特別会計	175	172	3	3	12			
居宅介護サービス等事業特別会計	19	19	0	0	1			
公営企業会計等 計				337		529	0	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」「資金剰余額/不足額」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」「実質収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
飯塚市・桂川町衛生施設組合	1,172	1,114	58	58		995	265	
飯塚地区消防組合	2,399	2,360	39	39		16	1	
福岡県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	3,632	3,525	107	107	7			
福岡県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	484,260	474,600	9,660	9,660	2,078			
福岡県介護保険広域連合(一般会計)	1,059	1,018	41	41				
福岡県介護保険広域連合(介護保険事業特別会計)	62,233	58,590	3,643	3,643		503		
福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	16,013	15,251	762	762	3,800			
福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)	299	299	0	0				
福岡県自治振興組合	185	184	1	1		1		
福岡県自治会館管理組合	217	170	47	47		54		
福岡県市町村災害共済組合(一般会計)	1,472	1,470	2	2		50		
福岡県市町村災害共済組合(公営競技収益金均てん化基金特別会計)	5	3	2	2		3		
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合	97	96	1	1		3		
一部事務組合等 計				14,362		1,515	267	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債権残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
桂川町土地開発公社	0	82	5						
地方公社・第三セクター等 計			5						

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 A	平成20年度 B	差引 B-A
財政調整基金	181	361	180
減価基金	6	5	1
その他充当可能基金	1,129	1,135	6
充当可能基金計	1,315	1,501	186

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 A	平成20年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 A	平成20年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	5.43%	4.38%	1.05%	15.00%	20.00%	水道事業会計			
連結実質赤字比率	12.89%	14.51%	1.62%	20.00%	40.00%				
実質公債費比率	14.7%	12.7%	2.0%	25.0%	35.0%				
将来負担比率	60.4%	47.7%	12.7%	350.0%					
財政力指数	0.38	0.39	0.01						
経常収支比率	102.1%	96.3%	5.8%						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(-)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経常健全化基準」は、公営企業を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。